

2025年11月号 もくじ

1.VOICE 組織部 下窪義文

2.大阪の尾根を歩きませんか ダイトレ一般参加者に配布

3.ハイキングセミナー案内

4.平和と登山

5～7 山の教室

8.2025 全国登山研究集会 報告 転倒滑落研究会

9.〃 女性委員会の取り組み

10.〃 平和と登山の取り組み

11.〃 教育遭難対策部の取り組み

12.〃 子どもの冒険学校

13.山楽登山の世界

14-18.谷川岳

19.編集後記

！！ Voice 今月は 組織部 です ！！

組織部 下窪義文

今年 5 月に前任の組織部長濱田光國さんが亡くなりました。
あらためてご冥福をお祈りいたします。

故濱田さんは長年にわたり組織部長を歴任されてハイキングセミナー等の会員拡大に取り組んでこられました。本当にご苦労様でした。ここに大阪労山が大きく羽ばたいているのは、濱田さんの活躍が大きかったからだと思っています。
しかしながら、大阪労山の会員数は2001年をピークに減少しつつも、一方では会員数が増えている会もあります。
私も山に入ると組織の事は考えた事はありません、山への要求が一番の目標でした。

今年の組織部は「山仲間の輪」をスローガンに互いの結束を深めていきたい。
会員拡大を議論することも第一、会員数を減らさないことも大事です。
共同テント泊が減り、テント泊での仲間の輪が少なくなっているように思います。
年齢の高齢化、共同テントを担げない、コロナで密はいや、ソロテンがいい、要員がある。

「山仲間の輪」・・・大阪労山には会創設 50 年のクラブが15存在しています。

山への要求に熱意を注ぎ、山仲間を大切にし、互いの意見を尊重し合いながらも熱心に議論し合って半世紀も続いています。

「山仲間の輪」があつてこそ会が継続している。

「参加できる輪」・・・誰もが参加できる役立つ講習、参加できる輪を設けます。

「話合いの輪」・・・各会が抱えている課題についての話合いの輪を設けます。

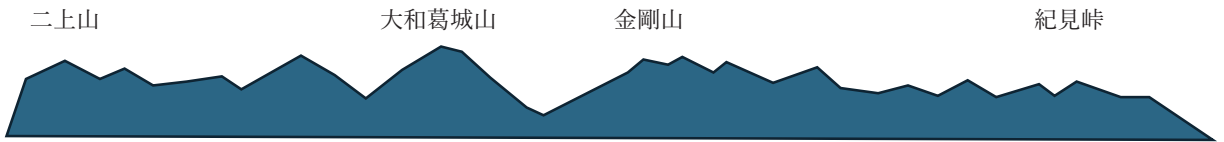
「交流の輪」・・・各会と交流を深めるための交流の輪を設けます。

「百名山の輪」・・・会では取り組めない山行として誰もが参加できる百名山の輪を設けます。

「支援の輪」・・・2024年1月の能登半島地震支援活動で結び合う支援の輪を設けます。

輪を作り、結び合うことで、各会組織の強化となり、組織の団結で労山全体の活性化になることを広げていきたい。

大阪の尾根を歩きませんか！



ダイヤモンドトレール 縦走大会を行っています。

とき 2025年10月19日(日)

受付 葛城市相撲館『けはや座』 近鉄南大阪線「当麻寺駅」下車 徒歩 5 分

ダイヤモンドトレイルとは、大阪府が 1970 年に整備した、金剛山地から和泉山脈へかけての縦走路で、屯鶴峯から榎尾山までの 50km にも及びます。

大阪府勤労者山岳連盟では、毎年秋にこのダイヤモンドトレイルの縦走大会を会員の足試しイベントとして開催して、もう何十年も続く伝統のある縦走大会になります。

(コース) 20km・・・ 当麻～二上山～大和葛城山
30km・・・ 当麻～二上山～大和葛城山～金剛山ちはや園地
40km・・・ 当麻～二上山～大和葛城山～金剛山～紀見峠駅
詳しくは HP をご覧ください。

山の仲間を募集します。

大阪府勤労者山岳連盟（略称：大阪労山）では、山が好き、自然が好き、そして人が大好きな山の仲間を募集しています。



大阪労山 HP

大阪府勤労者山岳連盟事務所（労山事務所）

〒553-0006 大阪市福島区吉野 3-2-35

一般社団法人大阪宣伝センター機関紙会館内 1F

TEL：06-6467-8544

FAX：06-6467-8545

30期冬山ハイキングセミナー 受講生募集

若者や初心者を対象に山の楽しさや感動を多くのみなさんに知っていただこうと開催されています。未経験の方でも山登りの基礎から学ぶことができます。

・受講資格

冬山の登山の基礎を学びたい健康な方

※開校日時点で20歳以上、60歳未満の方

※協調性のある方

・募集定員 10名程度

・受講料 23,000円（資料。実技山岳保険代を含む）

労山会員(労山基金3口以上の方)は20,000円

各山行費用（交通費、食費）は別途必要です。

・申し込みはホームページからお願いします。

<http://hiking-seminar.com/>

・スケジュール

座学 19:30～21:00 大阪府勤労者山岳連盟事務所 TEL 06-6467-8544

※実技の実施場所は、天候・積雪状況などにより変更になる場合があります。

日時 場所	お題	内容	備考
11/26(火)	開校式		
	座学1	装備説明	受講に必要な装備の説明
12/3(水) *19時～21時	座学2	読図	地形図の読み方・コンパスの使い方
12/7(日)	実技1 未定	読図	読図の実地訓練です
12/21(日)	実技2 蓬萊峡	歩き方とアイゼントレーニング	砂場を雪に見立てて、歩き方の練習をします。6本爪アイゼンが必要
1/14(水)	座学3	気象	天気予報の活用
1/18(日)	実技3 比良	雪を歩く	雪山をハイキング
2/3(火)	座学4	計画書と食料	計画書の立て方と食料計画
2/14(土)～ 15(日)	実技4 金剛山	テント泊	冬のキャンプ場に泊ってみましょう
2/18(水)	座学5	応急手当	冬山での応急手当
3/1(日)	実技5 未定	総合	読図、アイゼントレ、ハイキングのどれか
3/5(木)	座学6	修了山行打合せ	
3/13(金)夜発 ～15(日)	実技6 西穂丸山	修了山行 雪山テント泊	金曜夜発です。通年営業の小屋の横でテント泊をします。
3/25(水)	修了式		

輝け憲法！平和といのちと人権を 憲法集会
11 月 3 日（月）午後 1 時 40 分 中之島公園女性像前

ロシアのウクライナ侵攻が続き、もう 3 年以上も戦争が続いています。双方の兵士の死亡が 20 万～25 万人とも言われています。。イスラエルとパレスチナの戦争も起こって、67,000 人のパレスチナ人の人たちが死亡しました。10 月 10 日、ガザ停戦合意がなされましたが、これからの双方の平和への全面解決は依然不透明です。二つの戦争、今年のこのページでも「とに角殺し合いは止めてください」と主張しました。

今年も超党派の平和勢力が集結する「11.3 おおさか総がかり行動」が実施されます。11 月上旬の連休最終日ですが、もし都合がつかましたらこの集会に参加しませんか。集会で「戦争と平和について」また「どうしたら戦争のない世界を実現できるのだろうか」などみんなで考え行動をしていきましょう。今回は例年の扇町公園から大阪市中之島公園に変更になりました。では 11 月 3 日に、是非。

2025/11/03 輝け憲法！平和といのちと人権を

おおさか総がかり集会(11/3 13:40～ 大阪市)

憲法九条を守り平和のバトンを手わたそう

戦後 80 年 事実に向きあい不戦の誓いを！

日 時：2025 年 11 月 3 日（月・休）

13:40 OPENING LIVE 一二三礼さん

14:00 MAIN SPEECH 高山佳奈子さん（京都大学教授）

場 所：中之島公園女性像前

〒530-0005 大阪市北区中之島 1 丁目 地下鉄「淀屋橋駅」徒歩 2 分

内 容：

13:40 オープニングライブ

シンガーソングライター・一二三礼（ひふみ・れい）さん

14:00 メインスピーチ 高山佳奈子さん（京都大学教授）市民・政党アピール

主 催：おおさか総がかり行動実行委員会

*高山佳奈子さん（京都大学教授）

刑法総論の基礎理論、経済刑法、国際刑法を主な研究対象としている。

著書に『故意と違法性の意識』（有斐閣）、『共謀罪の何か問題か』（岩波ブックス）。

大阪労山「山の教室」

講座の種類に関して、事務所だけの座学、リモートのみ、事務所とリモート併用、実技の4種類になりますのでご注意ください。受講履歴は事務局で管理されていますので、各会の中で受講履歴の把握等が必要であれば下記アドレスに遠慮なくお申し付けください。

kyouikusoutai@osaka-rousan.com

◆今年度日程

日程	科目	種別	主講師	主担当	受講料	定員
4月9日 (水)	温室効果ガスによる気候変動と登山への影響	リモート	河野仁	高田和孝	¥500	—
4月16日 (水)	ハイキングレスキュー 入門編	座学	木村治朗	三宅康文	¥500	15
4月20日 (日)	ハイキングレスキュー 入門編	実技	木村治朗	三宅康文	¥1,000	15
5月17日 (土)	地形図の読み方 入門編	座学	脇阪	西本良夫	¥1,000	12
5月18日 (日)	地形図の読み方 入門編	実技	脇阪	西本良夫	¥1,000	12
5月20日 (火)	パーティー論リーダー論1 (概論)	リモート併用	中川和道	阪本 健之	¥500	—
5月21日 (水)	ハイキングレスキュー リーダー編	座学	木村治朗	三宅康文	¥1,000	10
5月25日 (日)	ハイキングレスキュー リーダー編	実技	木村治朗	三宅康文	¥1,000	10
6月3日 (火)	遭難事例研究 (無雪期) 入門編	リモート併用	中川和道	大見 則親	¥500	—
6月11日 (水)	応急手当 入門編	座学	柳川憲一	木村治朗	¥500	20
6月17日 (火)	夏山の気象	座学	山本賢治	高田和孝	¥500	20
7月1日 (火)	遭難事例研究 (無雪期) 実用編	リモート併用	中川和道	大見 則親	¥500	20
9月30日 (火)	Alpa イクライミツの ための制動確保 入門編	座学	中川和道	富永 公夫	¥500	12
10月5日 (日)	Alpa イクライミツの ための制動確保 入門編	実技	中川和道	富永 公夫	¥1,000	12
10月21日 (火)	パーティー論リーダー論2 (法律)	リモート併用	中川和道	阪本 健之	¥500	—
11月8日 (土)	地形図の読み方 スキルアップ編	座学	脇阪	西本良夫	¥1,000	12
11月9日 (日)	地形図の読み方 スキルアップ編	実技	脇阪	西本良夫	¥1,000	12
12月2日 (火)	遭難事例研究 (積雪期) 入門編	リモート併用	中川和道	大見 則親	¥500	—
12月16日 (火)	遭難事例研究 (積雪期) 実用編	リモート併用	中川和道	大見 則親	¥500	—
1月14日 (水)	冬山の気象	座学	高田和孝	山本賢治	¥500	—
1月20日 (火)	山の病気予防	座学	中川和道	大見 則親	¥500	20

◆11・12月の講座

➤ 地形図の読み方 (スキルアップ編)

日時：11/8 (土) 13:00～17:00 (座学) 11/9 (日) 9:00～15:00 (実技)

場所：11/8 (座学) 連盟事務所 11/9 (日) 近郊の里山

費用：各講座 1,000 円



申込 : <https://ws.formzu.net/dist/S31296011/>

座学と実技をセットで受講ください。〔片方のみの受講はできません〕

入門編を受講後、さらに読図のスキルアップを目指している方向けの講座です。道標が無くて、踏み跡が消えていても、自分の現在位置を把握しながら正確にルート維持できるようになることが目標です。今はGPSを利用してスマホでも登山中の現在位置が分かるアプリがありますが、地形図を読む力は予期せぬ事態に対処する上でも必須です。この講座では、周りの状況も判断しながらルートを考え、地形図とコンパスを使ってルートを維持する力を磨きます。座学は、土曜日の午後、途中休憩をはさみながら4時間ほどの予定です。次のような内容の学習を考えています。

- ・自分がいる現在地を判断するための方法を、いろいろなパターンの場合で考える。
- ・目的地までのルートを、周りの状況も把握しながら地形図上で考える。
- ・ルートを間違いやすい（道迷いしやすい）地点を、地形図上で読み取る。

◇申込みの一応の締め切り 10月23日（木）……下記の通り、座学の予習課題があるため。

*座学では、事前にいくつかの課題について予習をしていただきます。座学当日の学習がより深まるようにするためです。予習ですので分からないところがあっても、何も気にする必要はありません。課題はメール添付または郵便でお送りします。

*このスキルアップ編を受講できるのは、入門編（2016～2018年の単発講習会、2019年以降の「山の教室」の読図入門編を含む）の座学・実技を受講された方、または、同レベルの読図力をお持ちの方です。

*入門編を受講された方を優先しますので、入門編を受講されていない方については、申し込んでいただいても仮受理となります。人数が定員を超える場合には、申し訳ありませんが受講できないことをご了解ください。

➤ 遭難事例研究（積雪期入門編）座学

日時：12/2（火）19:30～21:00

場所：連盟事務所とリモート講座（Zoom）併用

費用：500円

申込：<https://ws.formzu.net/dist/S17646126/>



他人の山岳遭難を自分の教訓にして、登山の安全性を飛躍的に向上させていきましょう。OWAFの仲間の事故や、他の山岳会の遭難の分析法と教訓の抽出の例をいくつか紹介します。当日はツリー分析という分析手法を紹介します（下図参照）。初めての方は、どんなものか、お気軽に、ぜひ見に来て下さい。

事務所では、ツエルトをかぶって猛吹雪から生還する実技演習を行いますので、ご期待してご参加下さい。

文献1、2を事前に読んでおくと講座が聞きやすいです。このツリー解析を会得できたら、次は実用コースにご参加下さい。

〔文献1〕労山大阪、事故事例集『事故防止は仲間の知恵で』2021年発行。

2014-1（100P） 「場面の切り替えに失敗 アイゼンはずしたら転倒」

2013-1, 2（101P） 「ミトンが飛んだ 手に凍傷」 実習

2019-1（102P） 「目出し帽で 顔に凍傷」 実習

〔文献2〕「春の爆弾低気圧」から「みろく山の会」の事故。羽根田治『山岳遭難の教訓』ヤマ

➤ 遭難事例研究（積雪期実用編）座学

日時：12/16（火）19:30～21:00

場所：連盟事務所とリモート講座（Zoom）併用

費用：500 円

申込：https://ws.formzu.net/dist/S71241983/（11 月から）



入門編に続いて、山の事故を分析するやりかた(ツリー解析)を学びます。円グラフのとおり、OWAF でも結構事故がおきています。

1. OWAF の事故事例集『事故防止は仲間の知恵で』（2021 年発行）[文献 1]の 3-8.雪山・雪山縦走の事故、3-9.山スキーの事故から、

(1) 2014-8「テントシューズで 250m 滑落、生還」 p.101

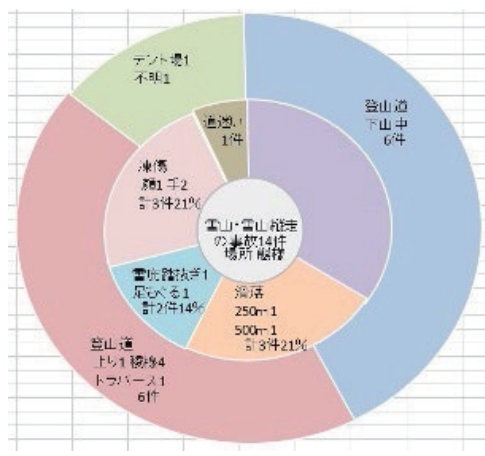
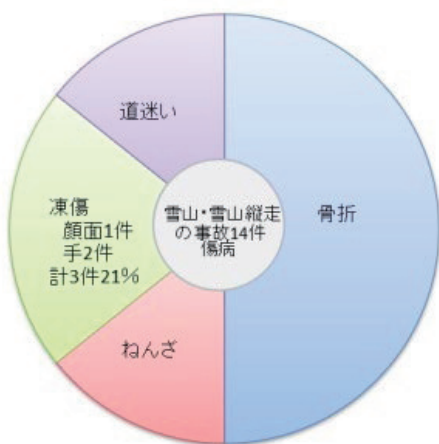
(2) 2013-6「警察とのやりとりの中でスキー縦走が事故に」 p.108

の分析をみんなで学びあいます。ツリー解析を学んだ人は作ってきてみて下さい。まだやったことがない人は、その場で学んで下さい。

2. 2015 年 2 月 9 日 学習院大学山岳部阿弥陀岳事故の経過報告書[文献 2]。中川たちは 1 週間後に現場を訪れ、阿弥陀岳の一般登山道のこわさを実感しました。[文献 2]を会場で実際に読みながら、講師中川といっしょに、ツリー分析図を作りましょう。 ていねいに手ほどきしますので、初めての方もご参加下さい。ツリー分析の見本を下図に示します。

[文献 1]『事故防止は仲間の知恵で』、大阪府連、2021 年発行

[文献 2]野村仁・学習院輔仁会山岳部(協力)、インターネットで『学習院大学山岳部、阿弥陀岳遭難事故の概要』と検索し、ダウンロードして下さい。



無雪期の登山道下山中転倒滑落は、冬山より危ない

— 労山大阪 転倒滑落停止研究会から —

大阪府連 中川和道 climber-nak@bca.bai.ne.jp

【はじめに】メディア報道が大規模少数事故に偏っているため「事故はアルパインが多い、ハイキング山道歩きは事故が少ない」と社会は誤解をしている、と青山千彰は 2020 論文に書いた[1]。山の事故防止担当者も引きずられて誤解[1]し、「転倒で事故してもせいぜいねんざとか、つまらない事故が主だ」あるいは「まず死亡事故、重大事故の対策が先決、転倒事故はその次」となるが、手が回らず年度が終わり、誠実な執行部であればあるほど、転倒滑落事故は後回しになる。こうして、転倒・滑落の事故対策は 30 年以上も取り残されてきた。大阪労山の事故事例集[2]はこの状況に一石を投じた。事態の変化はコロナ後の低山事故増加によってやっともたらされた。転倒滑落がメディアに登場するようになり、山の事故防止関係者の関心も転倒滑落事故に向き始めたのだ。

労山大阪では 2023 年 7 月に**転倒滑落停止研究会**を立上げて、計 6 回の研究会合を行い、学会やシンポジウム等[3]で成果を発表してきた。

成果 1：探り歩き 警戒態勢に入った下りで、前に下ろした足を着地する前に、足を左右に動かして状況を探る歩行技術。沢登りで水中の石の滑り具合を探る、冬山で雪面のもぐりにくい箇所を探るなどに用いられる。短時間ながら後ろ足に体重を強く残すので、脚力が要る。山道歩きの人にこれができない人が多いのに中川は驚いた。この脚力獲得を筋トレの新たな目標に位置付けることを提案する。図 1 は、着地前の左足を右に 5cm 左に 5cm 探り、問題を避けてから着地する訓練で、曲げた右足で体重を 1 秒程度支えている。市販のブロックを用いて「探り歩き筋トレ成果チェックセット」を試作した。まず 1 段 10cm で安定した探り歩き下りができるようになったら、2 段 20cm へ、実際の階段で 30cm とか 60cm へと進んでいく。



図 1.探り歩き

成果 2：強制滑り板 石車に乗る、粘土・コケ・氷で滑るなどを想定し、図 2 のように 2 枚の板を 2 本のロープで連結した。ロープのたるみ長さ l が滑り距離 l である。 $l=0$ のグラグラする足場から $l=50\text{cm}$ のすっ飛び滑空の足場まで数多く並べると訓練にいいかも。容易な設定は転倒寸前体験として役立つ。やや危険な設定で、体じゅうに保護具をつけ、受け身がどの程度役立つかなどの実験を行った(図 3)。滑った瞬間に後ろ足に体重が残っていれば、図 3 に示す「手を使った受け身姿勢」が自然に使える。後ろ足に体重を残すためには滑った瞬間に重心が支点の前方に出ない(歩幅小さく)ことが必要と思われる、高速度カメラなどを用いた運動解析を行い研究していきたい。

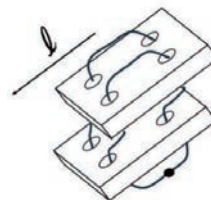


図 2. 強制滑り板

暗中模索：両足ロック下向き前方転倒 スポッターの保護のもと実験を繰り返しているが、まだ見込みが立っていない。転倒に入ったのち重心が支点の後方にあるうちは何とかかなりそうだが、前方に出しまうと、実験そのものが極めて危険となる。高速度カメラなどを用いて実験を続けたい。

防具：いくつかの試行例(ポケット[4]、マット)が出てきた。当日紹介する。

文献：[1]青山千彰、日本山岳文化学会論集第 17 号、pp. 67-78、2020。[2]事故事例集「事故防止は仲間の知恵で」、大阪府勤労者山岳連盟、2021。[3]中川和道・滝上肇、日本山岳文化学会 第 21 回・第 21 回研究発表大会 2023 年・2024 年。[4]河野仁、私信 2023。



図 3. 滑り板の実験

* 女性委員会 定例活動

- * 委員の交流会
- * 女性委員のスキルアップ
テーピング膝・足首中心に動画を見ながら学習
- * 山筋ゴーゴー体操の普及
- * 干し野菜を使った料理教室 6・9 月
- ・6 月 14 日夏山に向けての料理教室 申し込み無し中止
- ・9 月 6 日ダイトレに向けての料理教室 申し込み無し中止

* 近畿ブロック女性委員会

- ・5 月 24 日近畿ブロック女性委員会会議 場所:大阪府連事務所 参加者:3 名

- ・各連盟より活動報告と情報交換を行った

* 11 月 29・30 日 近畿ブロック交流集会

- 場所:しあわせの村

* 府連活動への取り組み

こども冒険学校 夏・秋・冬への協力

- ・1 月 26 日冬の冒険学校 場所:イン谷 参加者:2 名
- ・6 月 8 日わらじ作り 参加者:1 名
- ・8 月 23・24 日夏の冒険学校 場所:京都市立花背山の家 参加者:4 名
- ・11 月 8 日秋の冒険学校ハイキング 場所:飛鳥村

「登山・ハイキングでの転滑落防止に向けた歩き方の研究」

- ・参加者:2 名

室内ボルダリングの協力

* 女性のためのハイキング教室

28 回継続して取り組み

- ・女性に特化した内容で入門教室を開催し、
労山への入会につなげた
- ・課題:参加者の減少のため、本年以降中止

回数	24	25	26	27	28
年度	2018	2019	2022	2023	2024
参加人数	4	9	7	4	1
労山加入人数	0	0	2	1	1

第27回(2023年)

女性のための登山教室<初心者編>

主催:大阪府勤労者山岳連盟・女性委員会

来たれ、山ガール♪ 受講生募集中!

- ・対象・募集人数 山登りの基礎を学びたい健康な方...15名(定員になり次第締め切ります)
- ・日程と内容
 - 室内座学 第1回/3月10日(金)/第2回/3月17日(金)/第3回/3月24日(金)
内容...登山の装備・食糧・天気・山の歩き方とマナー・救急法・トレッキング法・地図
 - 実技 4月16日(日) 予備日:4月23日(日) 場所:六甲山
5月14日(日) 予備日:5月21日(日) 場所:大岩岳
- ・時間 19:00~21:00(受付:18:45より)
- ・場所 大阪府勤労者山岳連盟事務所
〒553-0006 大阪市福島区吉野3-2-35
一般社団法人 大阪宣伝センター機関紙会館・新館内
JR大阪環状線野田駅、地下鉄千日前線玉川駅から



女性のためのハイキングクラブもあります
「女性ハイキングクラブハイジ」

大阪労山、平和と登山の取り組み

大阪労山は毎年、平和行進を中心に平和と登山の活動を行ってきました。一年を通して、活動は大きく平和行進、戦跡ハイキング、憲法学習と平和の集いへの参加、原発関西訴訟支援にまどめることができます。ここでは特に平和行進と戦跡ハイキングについて述べていきたいと思います。

平和行進は大阪原水協の行進に労山として参加し、大阪府下の幹線コースを八日間歩いています。昨年は例年通りの日程で6月30日～7月7日の8日間、奈良・兵庫コースの参加者を含めて21会82名の参加がありました。八日間のコースは次の通りです。

6月30日：奈良より引継ぎ、柏原役所～岩田公園、7月1日：河内長野市役所～松原市役所、7月2日：泉佐野市役所～和泉市役所、7月3日：和泉市役所～堺市役所、7月4日：住吉区役所～旭区南公園、7月5日：守口市役所～枚方市役所、7月6日：高槻市役所～吹田市役所、7月7日：豊中市役所～川西市役所、兵庫に引き継ぐ

昨年は概ね晴天、猛暑の連日でしたが、「核兵器のない世界を一緒に実現させよう」をスローガンに引き継ぎの兵庫県川西市役所までみんなで歩くことができました。平和行進の成功は、平和行進の体制を早めに取り組み、理事会や「大阪労山ニュース」等で多くの会員の方に呼びかけた成果であると考えています。

大阪登山・平和と登山員会は、二つ目の活動の柱として戦跡ハイキングに取り組んできました。戦跡を訪ね、戦跡を通して戦争と平和についてみんなで考えていこうという目標です。戦跡ハイキングは2006年に始まり、今年の2025年3月まで57回を重ねてきました。この10年の訪れた府県は、京都（10回）、大阪（6回）、和歌山・滋賀・広島・沖縄（各1回）、遠方では大久野島の広島や登山と戦跡の沖縄、大阪では渡し船で乗り継いで歩いていく大正区の戦争遺跡に人気がありました。この二、三年間は諸事情で企画、参加者は減少傾向ですが、これからも多くの会員の声を聴きながら歴史ある戦跡ハイキングを続けていきたいと考えています。

この5年間の戦跡ハイキング、Noは戦跡ハイキング実施回数、（名）は参加者

No.48…2019.9.21-22 丹後半島、米軍レーダー基地、布引の滝（京都）、（17名）

No.49…2020.3.7 大阪港の戦跡を訪ねる、渡し船に乗りなみはや大橋を徒歩で超えていく（大阪）、（12名）

No.50…2021.11.20 和歌山県由良町の戦跡巡り（和歌山）、（18名）

No.51…2022.11.12 渡し船を乗り継ぎ大阪市大正区の大工場跡を訪ねる（大阪）、8名

No.52…2023.3.25 綾部市上林地区のミツマタ群生、大トチを訪ねて（京都）、（6名）

No.53…2023.11.25 舞鶴赤レンガ記念館、大江山山系杉山古代杉群（京都）、（7名）

No.54…2024.3.29-30 舞鶴引揚記念館、福知山鬼が城（京都）、（8名）

No.55…2024.11.11 備中松山城、高梁市（岡山）、中止

No.56…2024.12.8-9 大江山雲海、福知山戦跡巡検（京都）、（3名）

No.57…2025.3.15 米原・岩脇蒸気機関車避難壕、醒ヶ井ゼンソウ（滋賀）、4名）

1. 大阪府連の課題

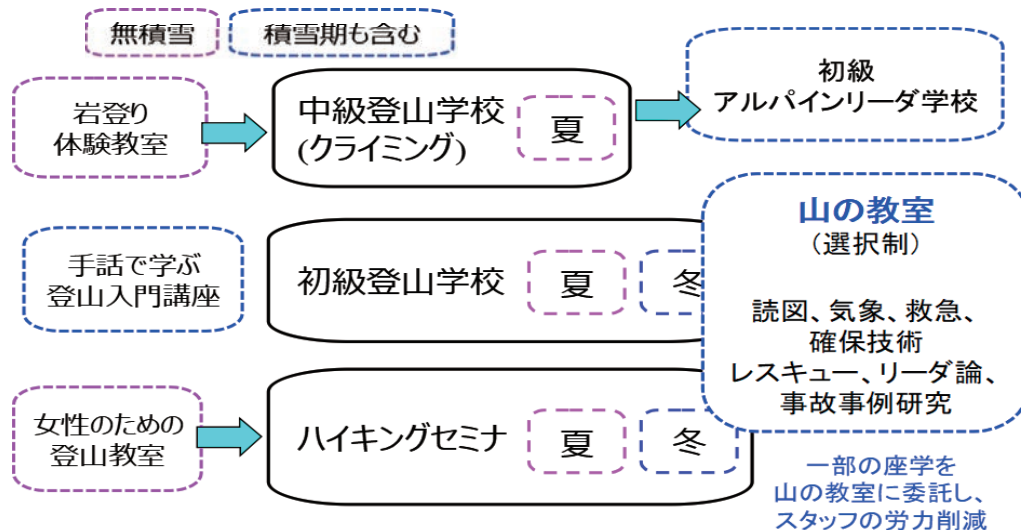
- ・ 会員数の減少と高齢化 2021 年：1059 人→2023 年：935 人

事象	課題	対策
高齢化	各会で新人教育が出来ない (会しまいを考えている)	・ 連盟で、次世代教育を実施
会員減少	財政赤字化 (10年存続できるか)	楽しいと言われる会作り・仲間作り ・ HP、SNSで魅力発信 ・ 一般や高齢会員向けの楽しめる企画

- ・ 新人には教育を、ベテラン会員には登山年齢を伸ばし長く仲間でいてもらう

2. 学校体系の改変

- ・ 初級登山学校の再建と、山の教室で専門教育を開始。兵庫とは筋トレ共催。



3. 改善の効果

- ・ 山の教室：特定の内容に特化したスポット的な教育。

入門編と応用編（上級編）があり、基礎を学んでステップアップ出来る仕組み。

府連や各会が、教育カリキュラムに取り入れて登山学校システムを構築できる。

- ・ 初級登山学校

特定の山岳会からの受講生が一定数来ており、会の中堅を構築しつつある

修了生は翌年以降スタッフとしてサポート

- ・ 手話で学ぶ登山学校

ハンディキャップを持った方々で運営し

仲間作り、スキルアップを目指す。

年度	夏山受講生	冬山受講生
2022	5 人 (3 山岳会)	9 人 (5 山岳会)
2023	6 人 (3 山岳会)	5 人 (4 山岳会)
2024	2 人 (1 山岳会)	6 人 (4 山岳会)
2025	8 人 (5 山岳会)	開校前



1. ねらい

①子育てが一段落した世代の労山加入につなげたい。

・親子+祖父母の3世代で、

②自然を楽しみ、

③労山を長く続ける環境を作る。

2. 活動

スタッフ研修会 わらじ作り 6月	沢登りで使うワラジを作れるように
夏の沢遊び 8月末	滋賀県大津市 葛川青少年自然の家など
クライミング 春と秋	クライミングジムなど
ハイキング 11月	大文字山や飛鳥村など
雪遊び 1月末	滋賀県大津市 旧比良スキー場近く

コロナ期だからのニーズをつかんだ

年度	2020	2021	2022	2023	2024
夏の沢遊び	26(8)	67(28)	38(15)	36(13)	58(27)
雪遊び	41(17)	34(13)	44(17)	67(28)	72(30)
ハイキング	25(11)	28(10)	11(3)		15(6)
クライミング		41(14)		27(8)	44(13)
合計	92(36)	170(65)	83(35)	130(49)	189(76)

数字は、 子供+大人+スタッフの合計人数 () 内は子供人数

3. 課題

- 子供の冒険学校は小学生が中心。中学生、高校生向けのアウトドア企画につなげたい
- スタッフ体制の充実を図る。→ スタッフ講習会を充実する。

①ワラジ造り講習会、②沢登り講習会、③岩登り講習会等

シニア向けにも解放、楽しむ輪を作り、長く大阪労山にいてくれる環境を作る

今年の夏は、少し、ましだった

OWCC 中川和道 20251016

何を言うのだと叱られそうだ、こう書くと。そう、確かにあまりの酷暑だった。中川が言うのはそれではない。お盆の時期に毎年感じてきた「一抹の寂しさ」が今年は克服できた気がして、毎年に比べて今年の夏は自分には「少しましだった」というのだ。

夏至(今年は6月21日)を境に日照時間はどんどん短くなり、8月ともなると、猛暑に中にもアキアカネが現れ、暦の向こうに秋が控えているのを感じる。例年ならお盆のころには朝晩だけは気温が下がるようになる。中川の大学生時代には「梅雨明け10日間」(7月20日ごろ)が登山の本番だった(今の学生は違う)が、社会人の登山はお盆連休が本番で学生より1か月も遅かった。余談だが、冬の凍結・春の融雪・梅雨の長雨で緩みに緩んだ岩壁の浮石を大学生たちが落としてくれた後、社会人クライマーが滝谷や剣岳にやってくるという安全登山の時系列が成立していた。

岩登りトレーニングは梅雨明けから8月上旬までの短期集中だ。今年の梅雨明け6/27は異常に早かったので期間は少し延びたが、それでも、岩トレとボッカの集中は年寄りクライマーにはつらい。若者クライマーは室内壁を登るが、中川たち旧人類クライマーは、この時期に頑張っておけば「冬にカゼを引かない」と理由もなく信じていて、百丈岩や不動岩を登る。穂高や剣岳では25℃も気温が低いというのに、わざわざ酷暑の自然の岩場でクライミング手順や安全手順をトレーニングするのだから、ひどく矛盾に満ちた行動だ。若者からみたら水準低いお遊び程度なのだろうが、中川にとっては苦しい苦しいトレーニングだった。

中川がお盆は寂しいというのは、夏が逃げていく、とを感じるからだ。台風や大雨のためにお盆の山行が中止になった年は、とりわけ、その思いが募る。残り少なくなったクライマー人生の持ち時間のうち1年分を、こんなことで削られてたまるかい、こんなんでも今年の夏を終えてたまるかい、というくやしさ、あせりだ[文献1]。ところが、今年2025年は様子が違った。やるだけやった、という感じがあったのだ。

目指したのは滝谷出合いから滝谷第4尾根[文献2]。8月13日(晴)、中川和道-松田明博で入山した。13日は雄滝下部で幕営し14日に雄滝を跳び越し滝谷本谷とりつきをと目指した。ところが、折からの集中豪雨の直後とあって水流が極めて多く、14日になっても水量は減らず、地響き爆音とどろく雄滝を跳び越すことが、ついに、できなかった。敗退。

敗退したものの、もう10度目かという滝谷本体を自分の目で見られたのは、大きかった。何とか知恵をめぐらして、来年もまた、チャレンジしよう、という気持ちが湧いてきた。ぜひ、再会を・・・。

[文献1] 中川和道「終われ夏！ 剣岳南壁 A2 稜から山頂への初級アルパインクライミング」、大阪労山ニュース 2024 年 12 月号 p.28-32。 [文献2]中川和道、大阪労山ニュース 2025 年 9 月号、表紙裏の写真。

第三回 百名山の輪 谷川岳 1977m・武尊山 2163m 報告

組織部:下窪義文

- ・とき 2025年10月11日～13日
- ・参加 12名(9クラブ)高桑・前田・豊村(きたろう HC) 大西・中條(雑木の会) 大見(OAR) 水口(くまごろう) 薦田(八尾) 柏原(ハイジ) 井上(溪遊会) 増山(淀屋橋) 下窪(つりばし)
- ・宿泊先 みなかみアウトドア・ログ&オートキャンプ場のバンガロー8人×2棟×2日
- ・交通 レンタカー + 車 2台
- ・参加費 ￥20800-(交通 宿泊 食料)
- ・山行記録

10/11 1班 — 土合～西黒尾根～谷川岳 記録:CL 下窪義文

- ・参加: CL:下窪 大見 水口 増山 前田 豊村 6名
- ・コース:土合登山口～西黒尾根～ザンゲ岩～肩の小屋～トマノ耳山頂～肩の小屋～天神尾根駅舎～ロープW～土合

土合登山口では降っていなかったが西黒尾根途中から小雨となり雨具付ける。一の倉沢の岩壁を期待したが何も見えない。剣剛新道出合いからザンゲ岩の稜線に入ると風も出てきた。肩の小屋に入り体を温める。狭い小屋は登山者で満員。山頂に向かう頃、2班が山頂から下りて来た。トマノ耳登頂し天神平へと下る。天神尾根を止めてロープWで下山する。

7:07. 西黒尾根登山口

11:00. ザンゲ岩

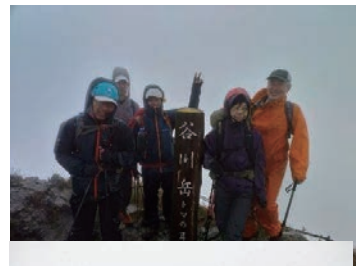
11:21. 肩の小屋 テーブルを確保して大休止。

11:54. 谷川岳トマノ耳風雨の中を順番待ち集合写真

12:05. 肩の小屋から天神尾根へ下る。

12:27. 天狗の溜まり 12:59. 熊六沢避難小屋

13:45. 天神平山頂駅 13:56. 土合駐車場



10/11 2班—土合ロープウエー～天神平～谷川岳

- ・記録: CL:高桑昭夫
- ・参加: CL 高桑 薦田 井上 柏原 大西 中條 6名 西黒尾根からトマノ耳で1班
- ・コース 谷川岳ヨッホ⇄天神平⇄肩の小屋⇄トマノ耳⇄オキノ耳

6:00 前日 20 時過ぎに新大阪を出発し当日 6 時に谷川岳ヨッホに到着するも雨かガスが

第三回 百名山の輪 谷川岳 1977m・武尊山 2163m 報告

組織部:下窪義文

- ・とき 2025年10月11日～13日
- ・参加 12名(9クラブ)高桑・前田・豊村(きたろう HC) 大西・中條(雑木の会) 大見(OAR) 水口(くまごろう) 薦田(八尾) 柏原(ハイジ) 井上(溪遊会) 増山(淀屋橋) 下窪(つりばし)
- ・宿泊先 みなかみアウトドア・ログ&オートキャンプ場のバンガロー8人×2棟×2日
- ・交通 レンタカー + 車 2台
- ・参加費 ￥20800-(交通 宿泊 食料)
- ・山行記録

10/11 1班 — 土合～西黒尾根～谷川岳

記録:CL 下窪義文

- ・参加: CL:下窪 大見 水口 増山 前田 豊村 6名
- ・コース:土合登山口～西黒尾根～ザンゲ岩～肩の小屋～トマノ耳山頂～肩の小屋～天神尾根駅舎～ロープW～土合

土合登山口では降っていなかったが西黒尾根途中から小雨となり雨具付ける。一の倉沢の岩壁を期待したが何も見えない。剣剛新道出合いからザンゲ岩の稜線に入ると風も出てきた。肩の小屋に入り体を温める。狭い小屋は登山者で満員。山頂に向かう頃、2班が山頂から下りて来た。トマノ耳登頂し天神平へと下る。天神尾根を止めてロープWで下山する。

7:07. 西黒尾根登山口

11:00. ザンゲ岩

11:21. 肩の小屋 テーブルを確保して大休止。

11:54. 谷川岳トマノ耳風雨の中を順番待ち集合写真

12:05. 肩の小屋から天神尾根へ下る。

12:27. 天狗の溜まり 12:59. 熊六沢避難小屋

13:45. 天神平山頂駅 13:56. 土合駐車場



10/11 2班—土合ロープウエー～天神平～谷川岳

- ・記録: CL:高桑昭夫
- ・参加: CL 高桑 薦田 井上 柏原 大西 中條 6名 西黒尾根からトマノ耳で1班
- ・コース 谷川岳ヨッホ⇄天神平⇄肩の小屋⇄トマノ耳⇄オキノ耳

6:00 前日 20 時過ぎに新大阪を出発し当日 6 時に谷川岳ヨッホに到着するも雨かガスか

●水口 忍(くまごろう)

① 谷川岳

久しぶりの雨中の行動でした。たまにはすべき行動かと思います。谷川岳は撤退の手段、営業小屋があったので、条件は良かったと思います。一ノ倉沢が見たかったのが心残りです。

②武尊山

計算上のコースタイムがほぼ8時間で、12名と言うことで、ヘッドランプ点灯での行動は想定内でした。日没が早いので朝早くからの行動開始を考えるべきだったかとは思いますが、府連の主催行事ということで、リスクが上がる行動があるかなしかは、標準を決める方がいいかも知れません。誰でも参加可での百名山なので、なかなか難しい問題です。

●井上真由美(溪遊会)

希望によってコースを選べたので安心して参加できました。谷川岳は雨で、稜線では風が強く寒かった事や雨対策などいい経験になりました。夜はみんなで鍋を作り地酒で乾杯、楽しく交流できました。翌日は青い空に紅葉、熊笹が美しく武尊山の景色を堪能。下山道がぬるぬるで滑らないように気をつけ時間がかかりました。

●増山路子(淀屋橋)

谷川岳山行は、雨の中での行動となったが登山道を歩けたことが嬉しい。これが西黒尾根か！と感慨深く、景色が見えないながらワクワクする。双耳峰の両耳はタッチする体温と気力はなかったが登山体験そのものに感謝。そのご褒美のような武尊山。淡い黄色の斜面に銀緑の笹原や色合いを変える。ダケカンバ・赤や黄の低木紅葉。素晴らしい景色に感動。秋の山の魅力満載に感謝の言葉しかありません。楽しかったです。

●中條加奈子(雑木の会)

「谷川岳」に惹かれて、労山の山行に初めて参加させていただきました。

2日目、須原尾根から見る「武尊山」の眺め、越後駒ヶ岳？の稜線がきれいでした。皆様からやさしく声をかけていただき、ロープ場や岩場の昇り降りの仕方やストックの使い方等を教えていただきました。バンガロー(快適でした)での夜の反省会も山を愛するみなさんの熱いお話が聞けて楽しかったです。計画書の段階からの細かいアドバイス、とても参考になりました。参加者の皆様大変お世話になりました。私にはなかなかハードな山行でしたが、「百名山の輪」また参加したいです。

●薦田薫（八尾山の会）

初回から参加させて頂いている百名山の輪、今回は2座、行けるだろうか？行きたい！！自分の体調からして、初日の谷川岳は私だけでも往復ロープウェイを使わせて頂き、2日目の武尊山に温存したいと思っていました。

スタートから小雨だったこともあり、2班は皆でロープウェイ往復に決定、結果大正解。山頂ではかなり天候も悪かったけれど、何とかオキノ耳、トマノ耳に登頂できて、すごく嬉しかったです。

1班の西黒尾根チームは、雨の中すいすいと駆け抜けて行かれました。すごい！！

2日目の武尊山から剣ヶ峰周回は、初日と違い、快晴でした。

けれど、岩場やロープ場など、想像していたよりずっと大変で、時間を消費してしまい、下山時は真っ暗になってしまいましたが、本当に楽しくて、思い出に残る山となりました。

初のバンガロー泊や、皆さんとの食事会、色んなことが有意義で、楽しく、良い経験となりました。ケガも事故もなく無事2日間を終え、帰阪することができ、一緒に頂いた皆さまに心より感謝申し上げます。

●大西薫（雑木の会）

「百名山の輪」の企画を目にしたときから参加を楽しみにしていた谷川岳でした。当日谷川岳の天気は雨、山頂はガスって真っ白でしたが、木道、岩場や鎖場など変化のある登山道には色ずき始めたナナカマドもあり、秋を感じる山行でした。

2日目の武尊山は、急登、ぬかるみ、連続する登りの鎖場に足元が見えずロープを頼りの激下り、さすが百名山と思える気の抜けないルートでした。下り途中で日が暮れ、真っ暗な山道をヘッドライトを付け、ルートファインディングしたことは、よい経験となりました。他会の方々とも話すことができたので、今回、参加できたことに感謝いたします。

●豊村耕治（きたろう）

今年きたろうハイキングクラブに入って10度ほど山登りに参加し、今回の百名山登山となりました。申し込みしてから2日連続で百名山に登れるか不安でしたが、何とか登れて達成感で溢れました。ありがとうございました。特に武尊山の下りと谷川岳の頂上の雨の中の寒さが非常にインパクトがあり、レインウェアの重要性、服の着回しなど勉強になりました。登山ルートの計画、時間配分も重要ですが、山の急激な天候の変化による寒さ対策の大切さを身をもって経験できました。皆さんとの楽しい山行をありがとうございました。

●前田長治(きたろう)

良い意味で、多くの経験をしました。夜間の車移動、バンガロー泊、暴風雨の中での登頂、ヘッデン使用の下山。ありがとうございました。

●大見則親(アウトドアオールラウンダーズ)

ご一緒いただいた12人の皆様へ

遠方の山に行くチャンスは少なく、期待した以上に楽しい山行でした。本当にありがとうございました。雨の登山も、ヘッドランプ登山も、とても好きですよ、(皮肉でもなく何でも無いです)そして皆さんと乗り越えられた事と、武尊岳の縦走の美しさは、とても良い思い出になります。またどこかで再会を願って、感想の言葉といたします。

●下窪義文(つりばし)

- ・西黒尾根は谷川岳の代表する尾根で、雨模様の中を登れたことは良かった。
- ・一の倉沢を眺めることができなかった。
- ・谷川岳は2班に分けての行動は良かった。
- ・初めて参加のレベルが分からなかったが、歩いていると次第にわかってきた。
- ・2日目のスタート時間を早めるべきだった。体調の問題もあり難しい点もある。
- ・西黒尾根はヘルメット持参したが、武尊山は持参しなかった。鎖場で先行の落石があり声をかけるよう注意すべきだった。
- ・12人パーティーでは行動に時間かかり、2班に分けるべきだった。
- ・谷川、武尊山も手ごたえのある山だった。・テント泊もできたが、大勢ではバンガローで交流の輪ができて快適だった。値段もテン場と変わらない。



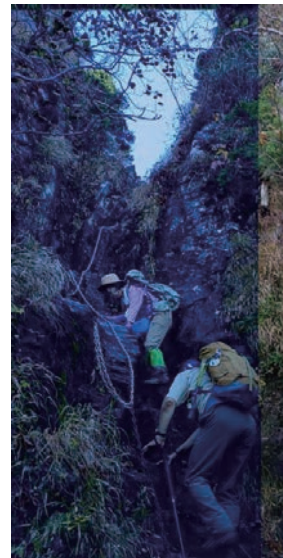
西黒尾根鎖場



バンガローで夕食



武尊山から剣ヶ峰



武尊山の鎖場⇒

OWAF メーリングリストのご案内

大阪労山の公式のメーリングリスト（以下、OWAF-ML）のご紹介です。OWAF-MLには連盟行事、伝達事項の案内や、各種登山学校や訓練、講習会の案内などが流れています。その他各登山道の状況、アルプスの山小屋情報、各会入山情報など、相互の情報交換の場として利用されています。大阪府連の会員であればだれでも登録できますので是非ご加入ください。

- **登録方法** 公式な ML なので、登録は原則として各会でまとめていただいております。各会の登録担当者までご連絡をお願いします。担当が分らない場合は直接登録いただいても構いません。
- **各会登録担当者様へ**
各会、代表・事務局長・理事の方は登録必須とさせていただいています。登録担当者を含めて各役職に変更があった場合にもご連絡をお願いいたします。また退会された会員の方のアドレスもご連絡をお願いいたします。
- **登録申請フォーム** <https://ws.formzu.net/dist/S91846322/>



登録申請フォーム

●編集後記 休載

今月も各会より会報を送っていただきました。

きたろうニュース（きたろうHC）、にしよど（西淀労山）、ぽんぽん山（高槻）、こもれび通信（（山の会こもれび）、福岡県連通信、労山おかやま、やまと友の会、京都労山、噴煙（鹿児島労山）、兵庫労山会報、県連ニュース（和歌山労山）、八尾山の会

発行日 2025 年（令和 7 年）10 月 20 日 No.476（2025 年 11 月号）

編集・発行 笠井、園、高橋、中井、中尾、大西